

## VIII. 個別支援計画の作成(演習)

基礎研修においては、個別支援計画の作成に主眼を置いたプログラムとしている。また、複数のサービスを利用する利用者を事例としており、サービス担当者会議のロールプレイのなかで、他事業所のサービス管理責任者等との連携も学ぶ内容となっている。

自事業所の個別支援計画が、サービス等利用計画や他事業所の個別支援計画とも連動することを理解していく。

### 1. 個別支援計画の作成に関する演習プログラムの全体像

個別支援計画の作成に関する演習																
13:00 ～	13:10 ～	13:20 ～	13:30 ～	14:10 ～	14:20 ～	14:30 ～	14:40 ～	14:50 ～	15:00 ～	15:05 ～	15:15 ～	15:25 ～	15:40 ～	16:20 ～	16:40 ～	17:00 ～
10分	60分			40分				10分	50分					40分	40分	
10分	10分	10分	40分	10分	10分	10分	10分		5分	10分	10分	15分	10分	40分	20分	20分
演習ガイダンス	ニーズの整理			サービス担当者会議 ロールプレイ				休憩	個別支援計画作成にあたり 本人との面接					個別支援 の計画作成	個別支援 計画の発表	
ガイダンス	事例の説明	個人ワーク	グループで共有	グループで担当者会議の参 加に向けた方針を確認する	ロールプレイ準備	ロールプレイ	振り返り+講師コメント		説明	サービス等利用計画の 個人ワーク	グループ共有	ロールプレイ	振り返り+講師コメント		発表	意見交換+講師コメント

#### 〈演習の進め方〉

- ・ 5～10人程度で1グループを編成する。なるべく、性別・年齢・サービス種別をばらつかせた編成とする。偶数グループとする。
- ・ ガイダンス後、①事例の概要、②アセスメントシート、③ニーズ整理表を配布
- ・ 演習事例の概要の読上げ（次ページ）
- ・ 各グループで、就労継続支援 B 型とグループホームのどちらの事業者役となるか決める（同数）

## 2. 演習事例の概要（この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です）

霞が関太一さんは、統合失調症を発症して同じ地元の病院で入退院を繰り返しています。今回は、お金を持たずに放浪しているところを警察に保護されて、病状が悪化していたため3回目の入院となりました。

家族と一緒に生活をする本人に振り回されてしまうのでこれ以上一緒に住めないと話しています。病院の精神保健福祉士（PSW）は太一さんと退院後の生活について話し合いました。その結果、「3回も入院してしまって自分一人で頑張っても上手く行かない事がわかった。人に協力してもらいながら生活していこうと思っている」と話しました。

病院のPSWから相談支援事業所に連絡が入って支援開始となりました。先日、グループホームの見学に行ったところ、同じ年齢くらいの方が「将来的には一人暮らしをするためにここ（グループホーム）で練習をしている」と言っていたのを聞いて、「自分もここで（一人暮らしの）練習がしたい」と希望されました。太一さんは日中の活動に関しては、「将来的には一人暮らしをして車を買いたい。生活保護では車を買えないので、就職して稼ぎたい。」と言って、退院後には就労継続支援B型で就労訓練を行いたいと希望しています。

太一さんは、相談支援事業所にサービス等利用計画案の作成を依頼し、相談支援事業所がアセスメントを実施、計画案を作成し太一さんに提示し、了承を得たので計画案をA市福祉課に提出しました。それを受けてA市福祉課は共同生活援助と就労継続支援B型の支給決定を行いました。相談支援事業所の相談支援専門員は、「サービス担当者会議」を行います。

みなさんは、サービス管理責任者として、サービス担当者会議に出席します。出席するにあたり、霞が関太一さんの「事例概要」及び「アセスメントシート」をもとに、共同生活援助を利用することを前提として①「ニーズの整理」を行ってください。

サービス担当者会議を経て、それぞれの事業所との契約するに至りました。

次に皆さんは、個別支援会議の実施、個別支援計画の作成へ向けて準備を行っています。5日後に行われる個別支援会議を行うにあたり「事例概要」及び「アセスメントシート」「ニーズの整理表」に加えてサービス等利用計画をもとに、②個別支援計画書（案）を作成してください。

## グループホームピアハウスの概要

- ・共同生活援助事業所（介護サービス包括型）
  - \*夜間は連絡体制のみ
- ・入居定員4名 現在 男性4名利用中
- ・建物 戸建住宅 5LDK
- ・居室4室（8畳） 世話人室  
リビング（共有スペース）、お風呂、トイレ、洗面所、キッチン共有
- ・立地環境 住宅地の一角にあり、すぐ隣には公園がある。歩いて5分の所にコンビニ、スーパーなどがあり、駅まで徒歩15分程度。
- ・サービス管理責任者 : 川崎 まさお  
\*普段は別にある事務所にいて、他に2ヶ所のホームも見ている。
- ・世話人 : 豊田 のぞみ 月～金 6:00～9:00、15:00～20:00  
(1日 計8h勤務)
- ・生活支援員 : 名古屋 ひかり 土・日 8:30～17:30 (8h勤務)

## 就労継続支援B型事業所「スマイル」地域の状況及び社会資源

本人居住地の環境	人口は約10万人、人口の約30%は65歳以上の高齢者であり、人口の5%にあたる約5千人が障害者手帳を保持している。 県庁までは自動車です1時間、都市圏までは電車で1時間程度かかる。 産業は、新都市開発による工場誘致により第二次産業が増加傾向にある。 公共交通機関は地元の鉄道、行政バスがあるが、自動車が移動手段の中心である。	
地域の社会資源の状況	障害福祉サービス事業は、市内の社会福祉法人やNPO法人により、就労継続支援A型・B型、生活介護、生活訓練、就労移行支援の各事業が整備されている。 相談窓口として、障がい者相談支援センター1ヶ所、特定相談事業所8ヶ所があり、障害者就業・生活支援センターは隣市にある。	
地域の地場産業	自動車産業が盛んな地域であり、部品の製造をはじめとした下請け企業が多い。以前は、家内工業の工場がたくさんあり、職親制度等も利用して障害のある人の雇用がされていたが、最近は閉鎖・倒産している会社が増えている。最近は観光客の誘致にも力を入れている。	
利用予定の事業所の概況	多機能型事業所 就労移行支援事業 定員12名 就労継続支援B型事業 定員20名 現在の利用者は、身体・知的・精神など多様な障害種別の人が利用している。 グループホームからは自転車です15分の距離である。	
職員構成	管理者1名（60代女性） サービス管理責任者1名（40代男性） 職業指導員3名（40代女性、60代男性、20代女性） 生活支援員2名（30代女性、30代男性） 就労支援員1名（30代女性）	
日課	*平日 9:30～16:00 *土日祝日は休所	
主な作業内容	作業内容	工賃の状況
	カフェ（接客、皿洗い、調理補助等）	時間 140円～170円
	組み立て作業	時間 200円～290円
	施設外就労（近所の運送会社での倉庫内作業・袋詰め作業）	時間 270円～350円

### 3. ニーズの整理

個人ワーク（10分）→ グループ共有（40分）

#### 〈ニーズ整理のポイント〉

- ・ニーズ整理の目的：個別支援計画作成のための最も重要な材料となる
- ・ニーズ整理のポイント
  - 利用者の意向に沿っているか
  - 人生の一部としてとらえているか
  - 全体像をとらえているか
  - 多面的にとらえているか
  - 複数の立場、職種の意見が反映されているか
  - 課題は検証可能か

#### 〈ニーズ整理の記入についての工夫〉

アセスメントでは、できることとできないことをチェックしているうちに、本人の全体像がぼやけてしまうことがある。⇒アセスメントを100字程度で要約してみる。

本人の意向等のニーズを、一つひとつ整理しながらも、支援課題を全体的に整理する。⇒全体像の把握のために、ニーズ整理表のニーズごとの横線を省いた。

ご本人の能力、家族、インフォーマルな支援等の状況等は、利用者の状況、環境の状況に整理する。支援者の気になることや推測できることには、本人の強さ、可能性、揺れ具合も含めた見立てとして整理する。

支援者の見立てのうえで、本人の希望に即した支援を行うためには、もう一度、本人の全体像を確認する。⇒「〇〇さんって、どんな人」ということを、100字程度でまとめてみる（箇条書きでも可）。

本人の全体像をふまえて、本人の希望に即した支援を行うためにニーズを整理する。

本人の整理されたニーズから目標を導き出し、それが、なぜ本人にとって大切なのかを明らかにする。

記入様式 1		ニーズの整理表		
			利用者名	グループ さん
No	表明されている ニーズの把握	初期状態の評価 (利用者の状況 ・環境の状況)	支援者の気になること ・推測できること (事例の強み・可能性)	整理されたニーズ

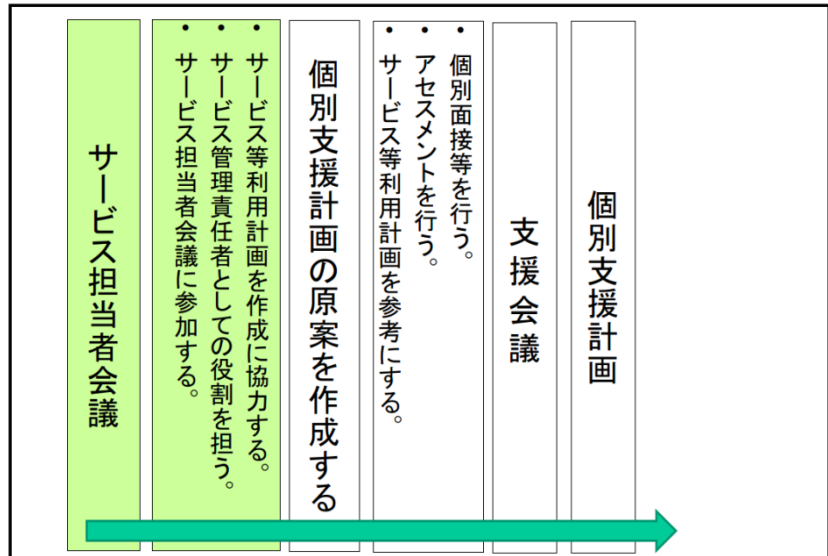
#### 4. サービス担当者会議のロールプレイ

グループで担当者会議の参加に向けた方針を確認する（10分）

ロールプレイ準備（10分）→ロールプレイ（10分）→振り返り+講師コメント（10分）

実際の現場では、右図のような流れとなる。事業者にとっては支援のスタートを切る重要な会議である。

「サービス担当者会議（サービス利用計画作成会議）」へ参加し、相談支援専門員と連携し、支援チームによるネットワーク構築に寄与する。  
⇒「サービス等利用計画」をもとに「個別支援計画」を作成することで、地域や外部につながる支援になっていく。



それでは、まず配役を決めましょう。支援者側は、性別に合わせた名前に適宜変更しても構いません。

役名	氏名	役柄	配役(氏名)
本人	霞が関たいち		
父親	霞が関いちろう		
相談支援専門員	六本木はやと		
A市福祉課			
グループホーム サービス管理責任者	川崎まさお		
世話人	豊田のぞみ		
就労継続支援B 型サービス管理責任者	本田		
支援員	鈴木		

ロールプレイを開始してください。（ロールプレイの解説は以下の通り）

## ロールプレイについて（概要）

### 1. ロールプレイとは

- 現実にかかる場面を想定して、複数の人がそれぞれ役を演じ、疑似体験を通じて、ある事柄が実際に起こったときに適切に対応できるようにする学習方法の一つである。
- 学習者は、役割を演じなければならないが、演じ方はたいてい演者の自由である。
- 対人関係や態度・行動を通して行われる学習に用いられる。

### 2. ロールプレイのメリット

- 意志決定過程にみられるような物事のプロセスについて学ぶ可能性が高くなる。

### 3. ロールプレイの方法

#### 1) 事前準備

- シナリオ：準備の段階でシナリオを作成するか、役割だけを決めて自由に行うか、目的によって決定する。
- 時間：決まっているわけではない
- オリエンテーション：実施する前に学習者にその目的を十分に説明する。

#### 2) 実施

- 実施中にロールプレイをビデオに録画しておけば、後で見直すことができる。

#### 3) フィードバック

- ロールプレイ終了後、気づきや学びを話し合うことで、学習を深め、広げることが大切

## ロールプレイ（ロールプレイング）の目的

日常生活の中で、人は必ず様々な役割を背負って暮らしていることを考えると、人生はまさにドラマと言える。その中で、常に同じような役割ばかりをこなしていると、新たな人間関係を作り出すことは大変難しくなる。

ロールプレイとは、参加者が自由な雰囲気の中で、あるテーマについて即興的に役割を演じ、協同して、役割行動の変容を図るもので、日常生活におけるそれぞれの役割を見直し、新しい状況に感じられるようになることを目的としている。

- (1) 日常生活における自分の役割を見直し、日常生活での課題を解決する手がかりを得る。
- (2) 参加者全員が、感情の解放をする。
- (3) 新しい、突発的な状況に 대응することができる。

したがって、ロールプレイは日常生活のリハーサルとも言えるだろう。参加者はうまく演ずる必要はない。大切なのは、いかに自分なりに自発性を発揮して演ずるかである。

自発性が回復されれば、ロールプレイでの新鮮な役割体験は、新しい役割を日常生活に取り入れる原動力となる。

自発性とは、新しい状況においても、周囲と自分自身にとって、より適切な、望ましい対応ができるということである。一般に、人は、新しい状況に対しては、他人の意見や自分の既存の体験をよりどころとして対応してしまいがちである。自発性は、そのような自分の外側から規制してしまうのではなく、自然に自分の中から自分を動かしていくことである。

自発性は、まず役割をとること（役割取得）から、自発的に個性的に演ずること（役割演技）、さらに、新しい役割を創造すること（役割創造）へと段階的に高まっていく。

### ロールプレイを行う上での注意

- 1) ロールプレイを理解しているファシリテーターをグループごとに配置すること
- 2) 事前準備（オリエンテーション）：参加者が主体的に関われるように情報や知識の整理
- 3) 役割別の準備：各役割ごとに自分たちの役作りを行い、場面設定を話し合う
- 4) 役割演技・討議：役になりきって演ずる。時間内で場面を変えて複数回実施しても良い
- 5) 誰か一人が時間を占領しないこと
- 6) 振り返り（フィードバック）：必ず自分の役やほかの役について感じたこと、考えたことを振り返る時間をとり、ロールプレイの後、他の人へ感情・しこりが残らないよう配慮する

ロールプレイが終了したら、振り返りを行いましょう。

### 振り返り(フィードバック)

役割を演じて体験したこと考えたことを全員が言葉にして分かち合う。

...例えば

- ・ ○○役として、自分自身が感じたこと...
  - ・ ○○役として、他者の役について、いつもの自分とは感じ方、見方、考え方が違ったところ...
  - ・ ○○役として、△△役の言動に抱いた感情.....等
- 演技であっても、思ったより内面が動かされることを経験する。その内面のざわつき、揺れ、感情的な反応を表現し共有することでロールプレイによる気付きは深くなる。その気付きが今後の会議の機能を上げていく。
- 分かち合うことで、役から離れられる（終わることが出来る）効果もある。

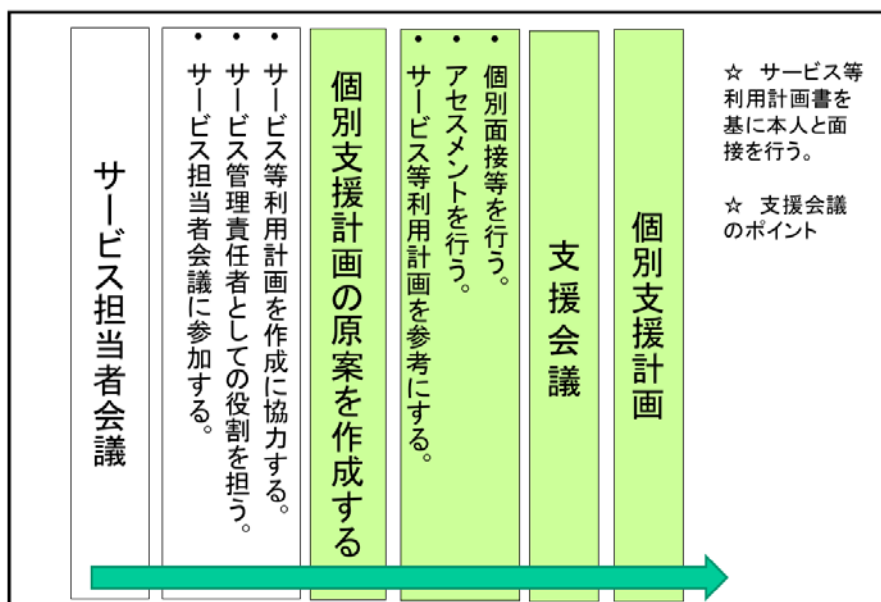
⇒だから、時間が足りなくても省かず、必ず最後に振り返りを行いましょう。

## 5. 個別支援計画作成にあたり本人との面接を含めた支援会議

### 〈演習の進め方〉

- ・ 個別支援計画書の様式を配布
- ・ 本人に何を聞くか、個人ワーク → グループ共有 → 本人との面接に臨む



流れとしては右図の「個別面接等を行う」「支援会議」というところになる。



ここで、もう一度、サービス管理責任者等の役割を押さえておく。

サービス管理責任者等は、個別支援会議の開催等を通じて、個別支援の質を担保する役割を持つ。

### サービス管理責任者の業務支援プロセスの管理

- 進行管理
  - ・支援計画と時間軸はセットで提供
  - ・時間軸の妥当性のチェックとタイムキーパー役
  - ・ゴール設定(長期目標と短期目標)の妥当性のチェック
- 個別支援会議の開催
- 支援課題の整理と大方針の設定
- 個別支援計画の作成(←最も重要!!)
- ・サービス管理責任者には最終的な責任がある。署名と押印で責任の明確化を!

⇒ 個別支援の質を担保する役割

#### 〈計画作成のポイント〉

- サービス等利用計画に基づき個別支援計画を作る
- 本人のニーズがきちんと反映されているか？支援者側の押し付けになっていないか？
- 本人を中心とした計画を、本人と一緒に作っていく過程こそが大切
  - 自分の支援計画をラフスケッチする力をつける
  - 自分の人生に責任を持つという視点
- 本人が分かりやすい言葉で書く
- 支援内容を抽象的な言葉でごまかさない
  - (安定した生活、楽しい暮らし、薬がちゃんと飲めるように…e t c)
- 具体的な目標、期間を設定する。数量化出来るように努める。
  - 定期的に評価を行う
- 小さなステップを踏むような計画になっているか



記入様式		<b>個別支援計画</b>			
利用者氏名: _____		作成年月日    /    /    _____			
サービス等利用計画の総合的な方針					
到達目標					
長期目標(内容・期間等) 標を加える。				* 必要に応じてサービス利用終了時の目	
短期目標(内容・期間等)					
具体的 到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
平成    年    月    日		利用者氏名	印	サービス管理責任者氏名	印

## 6. 個別支援計画の発表

個別支援計画の発表・共有 (20分) → 意見交換+講師コメント (20分)

## Ⅸ. 個別支援計画の実施状況の把握(モニタリング)(演習)

モニタリングについては実践研修においても学ぶが、基礎研修受講生はこれから自事業所において、個別支援計画の素案を作成する立場となる。2年後に実践研修を受講するまでモニタリングも行う場面があると思われるので、モニタリングの基本について学ぶ必要がある。

### 1. モニタリングに関する演習プログラムの全体像

9:00～	9:10～	9:20～	9:25～	9:40～	9:55～	10:05～	10:15～	10:30～	10:40～	10:50～	11:30～
10分	90分								10分	40分	30分
10分	10分	5分	15分	15分	10分	10分	15分	10分	10分	40分	30分
演習ガイダンス	サービス担当者会議(モニタリング)ロールプレイ								休憩	個別支援計画修正案の作成	振り返りとまとめ
ガイダンス	追加情報	配役を決める	加準備 サービス担当者会議参加	ロールプレイ	振り返り	加準備 サービス担当者会議参加	ロールプレイ	振り返り			

### 2. サービス担当者会議(モニタリング)ロールプレイ

追加情報を配布し、読む (10分)

配役を決める (5分)

1回目ロールプレイ準備 (15分)

1回目ロールプレイ (15分)

1回目振り返り (10分)

2回目ロールプレイ準備 (10分)

2回目ロールプレイ (15分)

2回目振り返り (10分)

## 〈演習の進行〉

### (1) 追加情報（モニタリング情報）

共同生活援助事業用、就労継続支援B型事業用のそれぞれの追加情報をもとにサービス担当者会議に臨む。

### (2) 就労継続支援B型事業所（就労B）と、グループホーム（GH）の合同グループをつくる。

ファシリテーターもグループに同行する。

### (3) 簡単な自己紹介（新しいグループをつくった場合）

### (4) ロールプレイ

○演習のガイダンス・演習の目的、進め方について説明

○模擬サービス担当者会議の設定

- ・設定：サービス管理責任者から追加情報の報告を受けた相談支援専門員がサービス担当者会議を開催した。

○模擬サービス担当者会議

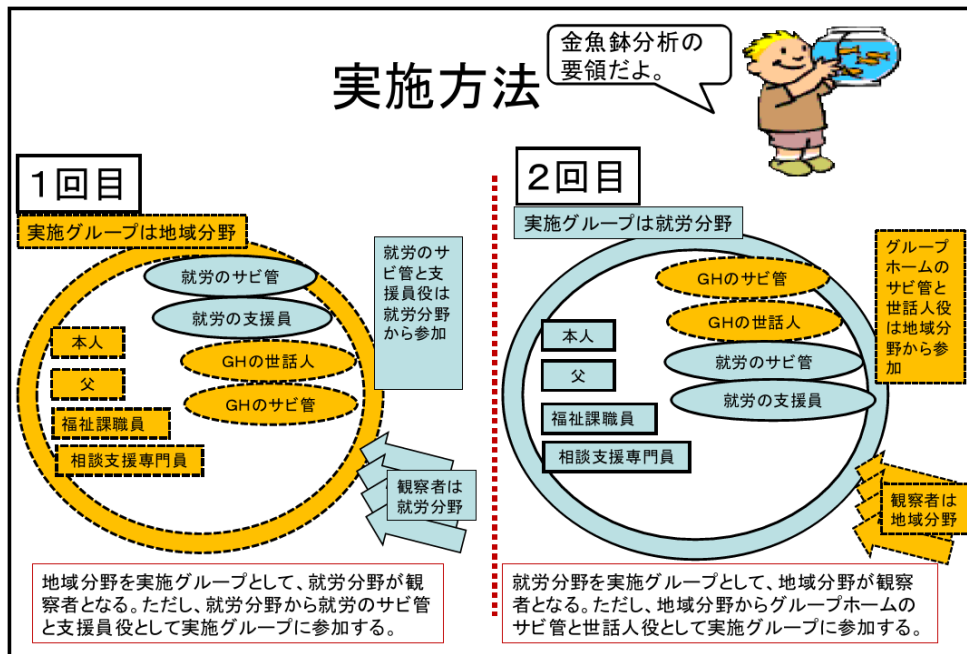
- ・グループごとに場面を確認し、模擬会議の役割を分担する。
- ・役割の設定についてファシリテーターから説明を受ける。
- ・ロールプレイは就労・GHの2グループで1組となり、実施と観察を交代で行う。
- ・1回目はGH班を実施グループとして、就労班が観察者となる。ただし、就労班から就労のサービス管理責任者と支援員役を出して実施グループに参加する。
- ・ロールプレイが終了した後のフィードバックを行う。

サービス管理責任者の役割や機能、本人の気持ちなどについて、サービス管理責任者役、本人役、観察者などから意見や感想を述べてもらいグループとしてフィードバックする。

- ・2回目は就労班を実施グループとして、GH班が観察者となる。ただし、GH班からグループホームのサービス管理責任者と世話人役を出して実施グループに参加する。

- ・ロールプレイが終了した後のフィードバックを行う。

- ・サービス管理責任者の役割や機能、本人の気持ちなどについて、サービス管理責任者役、本人役、観察者などから意見や感想を述べてもらいグループとしてフィードバックする。



〈追加情報〉

利用者名 霞が関 太一さん

	到達目標	達成状況の評価		現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位	担当者
1	生活や仕事で困ったり、不安なことを自分で判断せずに相談出来るようにしたい	達成	ほぼ達成 未達成	世話人のことを頼りにしていて、B型事業所スマイルの話を良くしている。この先、就労するのは不安だと言っている。しかし、本当の気持ちは相談できていないようだ。	・スマイルに通所することには張合いがあるようだ。早く就労したい気持ちと、まだまだこのままでいいという気持ちがあるようで、本音はなかなか話さない。 ・生活していく上で力をつけたい気持ちも強いが、毎日の生活に追われて、心にも体にも余裕がない。そのため、自分はダメだと思ってしまうようだ。 ・スマイルの通所を減らして、身のまわりのことに集中する日をつけたほうが気持ちに余裕が持てるのではないかと。 ・太一さんの本音も、スマイルでの様子も知りたい。ピアハウスでの様子もお知らせして、太一さんの希望にあった生活を支援したい。 ・次回のサービス担当者会議の際に、話し合う必要がある。		
2	ひとり暮らしに向けて、自分で出来る事を増やしていきたい	達成	ほぼ達成 未達成	スマイルから帰宅すると疲れているようで洗濯や掃除などに身が入らない。ただ、世話人が調理していると覗きに来て手伝うことがある。			
3	朝、自分で起きて仕事に遅刻せずに行けるようになりたい	達成	ほぼ達成 未達成	7時に起床して8時に通所予定だが何度声をかけられても起きられない。身だしなみは整えて通所したい様子が朝食を取り損ねることもある。			
4	入院したくないので、薬はちゃんと服薬していきたい	達成	ほぼ達成 未達成	服薬の必要性は良くわかっているようだが、朝食を抜いた際や、夜疲れて眠ってしまった際など、この1か月は3回ほど薬を飲み忘れた。			

個別支援計画の中間評価（就労継続支援B型事業所）

利用者名 霞が関 太一さん

作成年月日 H28 / ● / ●

	到達目標	達成状況の評価		現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位	担当者
1	自分の得手・不得手を知り、「お金を稼ぎたい」「就労したい」という希望をかなえたい	達成	ほぼ達成 未達成	・会話や言葉づかいが丁寧で、好感度は高いです。 ・作業の正確性や巧緻性のレベルも高く、この点はセールスポイントにできます。 ・集中力の維持は30分程度で、現在一日の作業時間は3時間に変更しましたが、大変疲れる様子です。 ・グループホームの世話人には、就労についての不安を話しています。	・就労継続支援事業の利用はそのまま続けたいと思っていますが、生活との両立がうまくできない様子です。 また、早く就労したい気持ちと、まだまだこのままでいいという気持ちもあるようで、就労に向けての気持ちの整理ができていません。 以上のことを確認するためにも、サービス担当者会議を開催して、ご本人・支援者が改めて話し合う必要があります。	3	松坂 (職業指導員)
2	作業訓練や一般就労に向けて、困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい	達成	ほぼ達成 未達成	・毎週水曜日に面談の時間を作りましたが、自分の気持ちをストレートに話すまでには至りませんでした。 ・困ったり悩んだりすると、感情をコントロールできず、自分の殻に閉じこもったり、黙り込むこともあり、時には、危険への対処が困難になるほど不安定になることがあります。	・毎日の生活に追われて、心身ともに余裕がない様子です。 今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えることを優先した支援が必要です。 そのため、グループホームとの連携を密にして生活の様子を把握した上で支援の見直しをする必要があります。	1	本田 (サビ管)
3	遅刻せず作業に行けるようになりたい	達成	ほぼ達成 未達成	・起床から通所、仕事の取り掛かりまでの流れを、生活支援員と一緒に決めましたが、起床時間の7時に起きられないことが続いています。 ・遅刻等の連絡はできています。	・自分に自信がなく、しばしば自分はダメだと思い、思い悩むことがあるようです。 就労アセスメントの結果を用いて、ご本人の得手として評価できることを丁寧にお伝えし、その上で、強みを伸ばし、弱みを支援するという意識合わせをしていく必要があります。	2	鈴木 (生活支援員)
4	髪・爪・ひげなどの身だしなみを整えたい	達成	ほぼ達成 未達成	・髪・爪・ひげなどが清潔でない時があります。 7時の起床時間に起きられないため、身だしなみを整える時間の余裕がなかったり、朝食を食べる時間もない日があるようです。		4	鈴木 (生活支援員)

【就労アセスメント結果票】

<対象者>

氏名: 霞が関太一

	評価項目	セールスポイント	問題なし	努力ポイント	所見
基本的なルール	1 欠勤等の連絡		○		
	2 身だしなみ			○	髪、爪、ヒゲなどが清潔でない時がある。
	3 働く場のルールの理解		○		
	4 健康管理の状況		○		
	5 感情のコントロール			○	感情的になることがあるが、時間が経つと落ち着く。自分の殻に閉じこもり、黙り込むことがある。
社会生活	6 あいさつ		○		緊張すると声小さくなる傾向があるが、慣れた人には大丈夫である。
	7 会話・言葉づかい	○			目上の人に敬語を使う。
	8 作業上の報告・連絡		○		声掛けや指示があれば報告はできる
	9 協調性		○		指示があれば仲間の手伝いができる。
	10 仕事の準備と後片付け		○		
作業態度	11 集中力の維持			○	30分経つと集中力が切れてくる
	12 作業能力の向上		○		向上はみられるが、時間帯によってムラがある
	13 指示の内容の理解		○		
	14 作業の正確性	○			作業をミスなくできる
	15 巧緻性	○			手先が器用である
作業遂行力	16 作業時間と休憩時間の区別		○		
	17 体力			○	1日3時間程度の作業に従事できる
	18 作業意欲		○		
	19 危険への対処			○	精神状態により危険な状況が判断できる時とできない時がある
	20 交通機関の利用		○		

<配役>

サービス担当者会議 配役			
役名	氏名	役柄	配役(氏名)
本人	霞が関たいち		
父親	霞が関いちろう		
相談支援専門員	六本木はやと		
A市福祉課			
グループホーム サービス管理責任者	川崎まさお		
世話人	豊田のぞみ		
就労継続支援B 型サービス管理 責任者	本田		
支援員	鈴木		

※ 役柄については、当日配布資料のページに掲載する。

• 中間評価時の確認事項

- (1) 当初目標の達成状況とそれに要した期間
- (2) 次のステップとして利用者が希望する生活とその後の実際
  - ①本人の希望
  - ②評価時の実際の生活状況
- (3) サービス提供事業者との連携状況

これらを踏まえて個別支援計画の中間評価を行う。

(参考様式)	中間評価のための確認表
中間時の評価等	
(1) 当初目標の達成状況とそれに要した期間	
(2) 次のステップとして利用者が希望する生活とその後の実際	
① 本人の希望	
② 評価時の実際の生活状況	
(3) サービス提供事業者との連携状況	

(参考様式)						利用者名
	到達目標	達成状況の評価			達成されない原因の分析	今後の対応(支援内容・方法の変更等)
1		達成	ほぼ達成	未達成		
2		達成	ほぼ達成	未達成		
3		達成	ほぼ達成	未達成		
4		達成	ほぼ達成	未達成		
5		達成	ほぼ達成	未達成		
6		達成	ほぼ達成	未達成		

### 3. 個別支援計画修正案の作成(40 分間)

#### 「モニタリングによる新たなニーズ」

サービス担当者会議の結果、下記の内容で個別支援計画の修正案を作成することになった。

#### 地域グループ：

太一さんは、「今はステップ（就 B カフェ）からピアハウス（GH）に帰ってきて、疲れて何もできない日もあるけれど、早く就職活動をして仕事をしたい。体力と自信をつけたいのでステップでもいいけど、もっと就職につながるような活動もしていきたい。」と希望していることがわかった。

#### 就労グループ：

太一さんは、「今は、就労よりも一人暮らしの力をつけたいという。もちろん、仕事のカも徐々につけていきたい」と希望していることがわかった。

グループで作成し、発表する。

### 4. 研修 振り返りとまとめ(30 分間)

- ・研修について、全員で振り返る。
- ・受講生からの意見を募り、全体で共有し、意見交換する。
- ・講師からコメントする。



【当日配布資料】

01 事例の概要

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

霞が関 太一 さん

記入者 支援センターひまわり 相談支援専門員 六本木 はやと

事例タイトル	精神科病院を退院して、初めての福祉サービスを利用しながら地域で生活する事例
相談経過の要約	統合失調症を発症して同じ地元の病院に3回入院を繰り返している。1回目は19歳の時に会話がかみ合わなくなったり不眠になったりして仕事（ラーメン屋の副店長）に行けなくなり、家族が心配して精神科病院を受診した。そのまま任意入院となったが、本人の退院希望があって1週間で退院となった。退院後は実家で父と妹2人の4人で暮らしていたが、1回受診しただけで通院治療にはつながらなかった。仕事も辞めて退院から6ヶ月後に2回目の入院。「映画スターにスカウトされている」等、非現実的な話をして家族のお金を浪費していた。3ヶ月間入院して病状も落ち着いてきたので退院後、実家に。居酒屋でアルバイトを始めるが1ヶ月で辞める。その後もアルバイトを転々とするがすぐに辞めてしまった。受診も退院してから1ヶ月間は通院していたがその後は行かなくなった。退院して5ヶ月後に県外（東京）でお金を持たずに放浪しているところを警察に保護されて、意味不明な事を言うなど病状が悪化していたため3回目の入院となった。家族と一緒に生活をする本人に振り回されてしまうのでこれ以上一緒に住めないとのこと。父も本人のために何度も欠勤したり、受験生の妹も迷惑している様子。3回目の入院で3ヶ月が経って、病状も落ち着いているので、病院のPSWが本人と退院後の生活について話し合った。その結果、本人は「3回も入院してしまって自分一人で頑張っても上手く行かない事がわかった。人に協力してもらいながら生活していこうと思っている。」と語る。そのために先日、グループホームの見学に行ったが、そこで同じ年齢くらいで総合失調症の方が暮らしていた。その方は、「将来的には一人暮らしをするためにここ（グループホーム）で練習をしている。」と言っていたのを本人が聞いて、「自分もここで（一人暮らしの）練習がしたい。」と希望された。「それと、通院と服薬も必要と思うようになった。」と話す。一人暮らしをしたことがない不安と見学時の話からグループホームが提案されている。日中の活動に関して本人は、「将来的には一人暮らしをして車を買いたい。生活保護では車を買えないので、就職して稼ぎたい。」と希望されている。今回の退院後は就労B型を利用して就労訓練を予定している。そこで相談支援事業所に病院のPSWから連絡が入って支援開始となった。
年齢・性別・家族構成・家族状況・現在の居住歴	年齢（21歳）・性別（男） A市で生まれて以来家族と生活してきた。 家族構成 現在の実家は、父親と妹2人の3人暮らし。 父：会社員。 母：5年前に離婚して同じ市内で別居。生活保護を受けて一人暮らし。総合失調症の治療中。 妹：高校3年生と1年生の2人
手帳・区分	精神障害者保健福祉手帳 なし（申請中） 障害支援区分 2
生活歴及び病歴	〔生活歴〕 A市で生まれ育つ。小中学校特に問題なく通い、地元の高校に進学。成績は普通で中学3年間と高校

	<p>2年生までバスケットボール部だった。母は統合失調症の治療で入院を繰り返していたが、本人が高校2年生の時に離婚して母一人で家を出て行った。卒業後は高校3年生の時からアルバイトをしていた市内のラーメン屋に就職した。この頃に自動車普通免許を取得。仕事ぶりは真面目で休む事もなかったが、就職して1年後に副店長として新規の店舗を任されるようになった。父は「その事から（本人が）無口になって不眠が続いていた。かなり無理をしていたと思う。」という。そこから欠勤するようになって1回目の精神科入院となった。</p> <p>〔病歴〕</p> <p>統合失調症の病状が悪化している時は、「芸能プロダクションからスカウトされている」「俳優のCさんがテレビのドラマを通じて自分（本人）にメッセージを送っている」等の妄想があり、それらの妄想を元の後先考えずあてもなくに東京に行ってしまう事もあった。過去に通院や服薬について自己中断してしまう事が続いた。服薬を始めると状態は落ち着くが、妄想がスッキリとなくなる事はない様子。しかし、妄想に振り回されるような大胆な行動はなくなる。</p>
経済状況	<p>障害年金（申請中）補足給付：家賃 10,000 円（申請中）</p> <p>生活保護は退院と同時に利用となる。</p>
相談に至る経緯	<p>本人の地域での暮らしを始めるための方法を考えたい</p>
望んでいる暮らし	<p>本人は、「今まで父親や家族に迷惑をかけてきたので、自立した生活をしたと思う」と将来的には一人暮らしを希望している。そのためにいきなり一人暮らしを始めるのは本人も家族も不安だし自信がないとのことなので、病院のPSWに薦められたグループホームで地域生活の経験を積んで行こうと思っていることを話してくれた。</p> <p>車が好きで以前は少し改造した車で友人達とドライブに行くのが好きだったので、また車を買ってドライブをしたいと希望されている。そのために生活保護では車を買えないので、仕事をしてお金を稼いでアパートを借りて車を買いたいとのこと。どれくらい先のことが尋ねると、本人は「1年後くらいかな」と答えた。仕事については、飲食店で仕事をしていたので、できれば飲食店で働きたいと言うが、別に他の仕事でもいいとも言う。</p>
本人の状況と最近の様子	<p>数日前から服薬の自己管理を院内で行いはじめたが上手く出来ている。作業療法等の院内の活動にも積極的に参加している。日中は同じ病棟の患者さんと一緒に近くの喫茶店でお茶をするのが楽しみのになっている様子。</p>
その他	<p>母とはたまに連絡を取っているとのこと。かかりつけの精神科病院が同じ。退院したら母に会いたいと思っていると本人は言う。</p>

## アセスメント票

記録：相談支援センターひまわり      相談支援専門員 六本木はやと

相談日時	平成●年8月1日 13時～15時
氏名等	霞が関 太一 氏、21歳、男性、統合失調症
心身の状況	身長170cm 体重75kg 特に問題ない。本人は最近肥満体型になってきたのを気にしている。
精神面の状況	現在は落ち着いているが、病状が悪化すると妄想を元に行動を起こすことがあるので、周りの人からは変わった行動とみられることもあるとのこと。 見た目は大人しそう。父からは「本人は人に頼まれると断れないタイプ」「以前は愛想がいいので人から可愛がられていたが、病気になって暗くなった」と言われている。
生活の自立度	ADLはすべて自立している。 IADLは今まで家事をやらなくてはならない状況がなかったので、練習をすれば身体機能的にはできるようになるかも。病状が良くないと気力が出ずに出来なくなることが予想されると病院からの情報。
気持ちの自立度	今まで福祉サービスを利用したことがないので、初めは戸惑うことがあると思われる。また、自分なんとかしようと生きてきた方なので、上手く他人に相談することに慣れていない様子。
服薬状況	入院中に服薬自己管理練習中。退院後は朝・夕・寝る前の処方予定
経済状況	<収入面> 生活保護費 <支出面> グループホームの費用 家賃 30,000 円 (家賃補助 10,000 円) 食費 20,000 円 光熱水費 15,000 円 日用品費 3,000 円 金銭管理は自分でできるが、浪費癖がある。
趣味	ドライブ・バスケットボール・音楽鑑賞・買い物(服)・携帯のゲーム
キーパーソン	今までは父親が全面的に支援してきた。
家族	父方母方の祖父母について、父方の祖母は県外(遠方)にいるが、以外は他界している。 祖父母には年に1回家族で会いに行っていた。
就労	お金を稼ぎたいという思いがあり、就労への意欲は高い。これまでの職歴は、ラーメン屋を辞めて以降はアルバイトを転々としており、どれも長続きはしていない。手先が器用で丁寧な仕事ができるが集中力が続かないことが多い。現在は、1日2時間程度の作業に従事できる体力である。自分の得手・不得手の分析ができていないが、飲食関連の仕事には興味をもっている。早起きが苦手な生活リズムがなかなか安定しない。移動手段は主に自転車を利用しており、就労に際しての通勤手段が限られている。

## 02 アセスメントシート

氏名

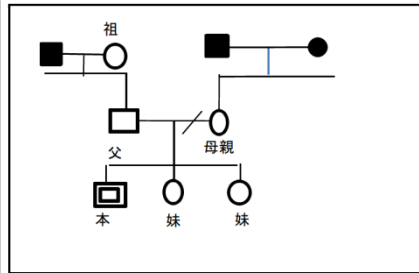
霞が関太一

記入 相談支援専門員

六本木はやと

	項目		介助が いるか	程度		項目		介助が いるか	程度	
	日常生活面	起居動作	起き上がり	<input type="checkbox"/> 有			衛生保持	手洗い	<input type="checkbox"/> 有	
寝返り			<input type="checkbox"/> 有		爪切り	<input type="checkbox"/> 有				
姿勢保持		座位	<input type="checkbox"/> 有		耳掃除	<input type="checkbox"/> 有				
		立位	<input type="checkbox"/> 有		月経	<input type="checkbox"/> 有				
移動		屋内	<input type="checkbox"/> 有		行為排泄	排尿	<input type="checkbox"/> 有			
		屋外 (徒歩)	<input type="checkbox"/> 有			排便	<input type="checkbox"/> 有			
衣類着脱		着脱行為	<input type="checkbox"/> 有		食事全般	飲食行為	<input type="checkbox"/> 有			
		服装の選択	<input type="checkbox"/> 有			食事状況	<input type="checkbox"/> 有			
整容行為		歯磨き	<input type="checkbox"/> 有			食事の後片付け	<input type="checkbox"/> 有			
		洗顔	<input type="checkbox"/> 有		調理全般	調理	<input type="checkbox"/> 有			
家事全般		整髪	<input type="checkbox"/> 有			入浴全般	入浴の準備 と片付け	<input type="checkbox"/> 有		
		ひげ剃り	<input type="checkbox"/> 有		入浴		<input type="checkbox"/> 有			
		化粧	<input type="checkbox"/> 有		洗濯		<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要		
					洗濯物干し		<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要		
					掃除		<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要		
					衣類整理	<input type="checkbox"/> 有				
					所持品整理	<input type="checkbox"/> 有				
					ペットメイク	<input type="checkbox"/> 有				
<p><b>特記事項</b></p> <p>病状の悪化時には妄想による行動を行うことで精一杯になってしまい、日常生活でやらなければならない事や金銭の管理等が全然できなくなってしまう。家事をやった経験がないので援助があればできるようになると予測できる。(入院中の作業療法の評価から推測) 朝起きるのが苦手なので、就労Bの事業所に通う時には遅刻が頻回になることが心配される。</p>										
コミュニケーション		困ったときに相談しているところ 相談支援センター「ひまわり」 就労センター「スマイル」 グループホーム「ピアハウス」 西村病院（内科・精神科）				生活上の支援機関、支援者など ・・・・サービス等利用計画作成について ・・・・退院後に利用予定の就労継続B型事業所 ・・・・退院後に利用予定のグループホーム ・・・・入院時の病院（通院予定）				
	<p><b>意思の表現方法</b></p> <p>言葉でのコミュニケーションが十分できる。仕事をしていた時は、地元の仲間と月に1回バスケボールをしていて友人も多かったとのこと。その時は彼女もいたというので、もともとコミュニケーションをとるのが上手かったのではないかと思われる。入院中も同じ年齢くらいの患者さんと院外の喫茶店に行ったり作業療法のプログラムも仲のいい患者さんと参加されていたことを考えるとコミュニケーションをとるのは上手。以前は携帯電話でメールのやり取りも行ってた。人に好かれるタイプで入院中は特に年上の人に可愛がられている。</p>									

社会参加・移動	好きなこと ドライブ・バスケットボール・音楽鑑賞・買い物（服）・携帯のゲーム 嫌いなこと うるさい場所・不良っぽい人 移動の方法 徒歩・公共交通機関 ※普通自動車免許書があるので車と原付の運転がでる。				
家庭生活	どこでだれと暮らしているか？ 退院後はグループホームで生活をする予定。 家庭での主な介護者 父親 介護者の状況 父親は会社員で、本人が病状の悪化時には色々な支援を行ってきたがすでに限界。				
経済状況	主な生活財源 退院後は生活保護の受給予定。 就労による収入 0円/月 預貯金 0円 <input type="checkbox"/> 基礎年金申請中 <input type="checkbox"/> 障害者特別手当 <input type="checkbox"/> その他				
行動面	行動面での障害1	項目	介助が いるか	程度	<b>特記事項</b> 病状によって行動面や感情面が大きく左右されてしまう。逆に病状が安定すれば多くのことができて自立した生活が出来る。病状が悪くならないければ多くのことにチャレンジできると思われるが、悪化すると妄想に基づく行動をとってしまい、東京等に行ってしまうことが予想される。以前に病状が悪化した時には服薬をしていなかったこともあるが、部屋に引きこもって食事を取らずに寝ていなかったことで病状の悪化が加速して東京の行ってしまっって補導されたと父からの情報がある。このことから服薬はもちろん必要だが、それ以外に、睡眠時間の確保と食事がしっかりとれることも大事であると思われる。芸能事務所にスカウトされているという妄想は消えることなく残っているが、そのことであてもなく東京に行ってしまうことには懲りていると本人は言う。「また入院するのは懲り懲りなので、あてもなく遠くに行くことはしない」と語る。
		こだわり行動	<input type="checkbox"/> 有		
		徘徊	<input type="checkbox"/> 有		
		無断外出 無断外泊	<input checked="" type="checkbox"/> 有	病状の悪化時にはあてもなく県外に いってお金がなくなり保護される。	
		錯覚・幻視・幻聴	<input checked="" type="checkbox"/> 有	幻聴あり「東京に来い」「のろま」などなど	
		被害妄想	<input checked="" type="checkbox"/> 有	近所の人たちからバカにされている と思っている。	
		自殺願望・企図	<input checked="" type="checkbox"/> 有	病状の悪化時にはうつ状態になっ て、自殺を考えてしまう時もあると いうが、行動に移してことはない。	
		不潔行為	<input type="checkbox"/> 有		
		異食行為	<input type="checkbox"/> 有		
		収集癖	<input type="checkbox"/> 有		
	物忘れ	<input checked="" type="checkbox"/> 有	病状の悪化時には、他人が言った事の ほとんどを覚えていないことがある。		
	反社会的行為 (盗竊、虚言など)	<input type="checkbox"/> 有			
	行動面での障害2	自傷行為	<input type="checkbox"/> 有		
		他者に対する 粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有		
器物に対する 粗暴行為		<input type="checkbox"/> 有			
奇声や騒がしさ		<input type="checkbox"/> 有			
パニック		<input type="checkbox"/> 有			
多動・行動の停止		<input type="checkbox"/> 有			
思考障害		<input checked="" type="checkbox"/> 有	病状の悪化時には考えがまとまらず、 最終的には思考停止になるとのこと。		
感情・思考 の障害	感情不安定	<input checked="" type="checkbox"/> 有	病状のが不安定になると感情も不安定になる。		
	過大・過小評価	<input checked="" type="checkbox"/> 有	病状の悪化時には「なんでも出来る」 気になるとのこと		



《その他》  
 主治医からは、病状が悪化しそうな時に本人からSOSが出せるような場所(人)と、周りが気づける関係性ができると、入院までしなくても外来治療で乗り切れると思われるとのこと。そのためには生活の場でのサポート体制は欠かせない。本人もこんな時はここに電話下さいと伝えておけばSOSを言えるし安心できるという。

## 03 ニーズの整理表

グループ

利用者名 霞が関 太一 さん

No	表明されているニーズの把握	初期状態の評価 (利用者の状況・環境の状況)	支援者の気になること・推測できること (事例の強み・可能性)	整理されたニーズ

## 04 ニーズの整理表

グループ

利用者名 霞が関 太一 さん

No	表明されているニーズの把握	初期状態の評価 (利用者の状況・環境の状況)	支援者の気になること・推測できること (事例の強み・可能性)	整理されたニーズ
	<p>今まで父親や家族に迷惑かけてきたので自立して生活したい。</p> <p>将来は一人暮らしを望んでいる。</p> <p>一年後くらいには就職してお金を稼ぎたい。</p> <p>アパートを借りて生活し、車を買ってドライブに行きたい。</p>	<p>精神障害者保健福祉手帳申請中 障害支援区分2 地元高校卒業後(成績は普通)ラーメン店に就職。1年後、新規店舗を任されたあたりから不眠など不調となり1回目の精神科入院。19歳から21歳のこれまで3回の入退院を繰り返している。</p> <p>過去には、通院や服薬について自己中断してしまうことが続いた。服薬を始めると落ち着くが、妄想がすっかりなくなることは無い様子である。</p> <p>病状により行動面や感情面が大きく左右されることがあった。</p> <p>父と妹二人と4人で暮らしていた。現在、家族はこれ以上同居が難しいと感じている。</p> <p>母親は5年前に離婚し、一人で暮らしている。(統合失調症治療中) 時々連絡をとり、退院したら会いたいと思っている。</p>	<p>いきなり一人暮らしを始めるのは自信がないのでグループホームで地域生活の経験を積みたいと思っている。</p> <p>通院と服薬も必要と思うようになっており、現在、院内で服薬の自己管理を始め上手くできている。(退院後は朝、夕、眠前)</p> <p>作業療法等の院内の活動も積極的に活動している。</p> <p>ADL すべて自立、IADLは練習すれば身体的には可能性あり。</p> <p>本来、コミュニケーションをとるのは得意。</p> <p>普通自動車免許を取得している。</p> <p>趣味がある(ドライブなど)</p> <p>収入予定 生活保護費(退院と同時) 障害基礎年金、補足給付申請中 支出予定(小遣い含まず) 合計の最低経費 68,000円</p>	<p>○将来の一人暮らしの練習をする。 グループホームでの生活の中で人間関係を作り、さまざまな経験を積んでいく。</p> <p>○病状が悪化しそうになった時、SOSが出せる場所(人)、周囲が気づける環境を準備する。 (福祉サービス利用への戸惑いが予想されること、他者への相談にあまり慣れていない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援センター ひまわり</li> <li>・就労センター スマイル</li> <li>・グループホーム ピアハウス</li> <li>・西村病院(内科、精神科)</li> <li>・これまでのキーパーソンは父親</li> </ul> <p>○将来の就職できるように練習する。 B型事業所を利用して就労に向けて経験を積んでいく。</p>



05 サービス等利用計画・障害児支援利用計画

利用者氏名(児童氏名)	霞が園太一	障害支援区分	区分2	相談支援センター	ひまわり		
障害福祉サービス受給者証番号	300XXXX##	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと		
地域相談支援受給者証番号	300XXXX???	通所受給者証番号	000XXXX\$\$				
計画作成日	平成●●月●●日	モニタリング期間(開始年月)	平成●●年●●月	利用者同意署名欄			
利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>今まで父親や家族に迷惑かけてきたので自立して生活したい。将来は一人暮らしをしたいが、これまで一人でいるよりいろいろな人に協力をしてもらいながら生活ができればいい。今は一人暮らしに自信がないが、グループホームで一人暮らしに向けて練習がしたい。一年後くらいには就職してお金を稼ぎ、アパートを借りて生活し、車を買ってなり一人暮らしをしては不安がある。もう入院はしたくないので通院や服薬もして、時々声が聞こえたり、不安になった時には相談に乗ってくれる人がいれば安心できると思う。父親もいきなり一人暮らしで不安がある。グループホームで練習をすることについては理解をしている。</p>						
総合的な援助の方針	<p>グループホームを一つのステップとしてできることを増やし、支援を受けながら自由な一人暮らしを目指す。今は就労継続支援B型を使うが、就労を目指す、昔のように就職をしてお金をためて車を買って出かけるようにする。また、不安な時や苦しい時には相談できる人やSOSを呼べられる人を確保できるようにする。</p>						
長期目標	<p>グループホームで通院や服薬、相談をしながらか生活し、洗濯や掃除などこれまでできていなかったことを練習して一人暮らしを目指す。飲食関係の仕事を興味はある。このことなので福祉センターにてカフェナーを運営している就労B型スマイルで仕事をしながら飲食関係、もしくは他の通院での就労を目指す。飲食関係の仕事も興味はある。</p>						
短期目標	<p>ピアハウスの同居のメンバー、西村先生、PSW(岩崎さん)六本木さんと世話人(豊田さん)、サビ管(岩田さん)、サビ管(本田さん)とこれからの暮らしや仕事、不安なことも含めて相談しながら進める。その中でまずは遅刻をしないことと洗濯、掃除について練習し、福祉センターのカフェ「ステップ」で仕事をしてみよう。</p>						
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	安心して相談ができる人、人々や場所が安心できる人、場所があれば安心してできる	生活や仕事上で困ったり、不安だったりしたことはまず自分だけで判断せず相談できるようにする	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援 病院 医師 PSW 毎日 月～金 週時 週時	ピアハウス豊田 川崎 ピアハウス豊田 川崎 ピアハウス豊田 川崎 (ステップ担当) ひまわり 六本木 西村病院 岩崎 西村	1ヶ月	霞が園さんと関わっている人たちに情報共有することやそれぞれ確認していただき。父親への定期的な報告は六本木が実施。変化や新たな課題については共有していただき。
2	アパートなどで一人暮らしをした	洗濯や掃除など今まではほとんどできなかったことがないの練習をする。	12ヶ月	グループホーム 毎日	ピアハウス 豊田 グループホーム同 居者	3ヶ月	グループホームで生活する中でニーズに 変化がある可能性があることに留意し、 サビ管と支援計画の検討をお願いします。 また、関係者と共有願います。
2	できれば飲食関係の仕事に就きたい。	カフェやそのほかの仕事も経験しながら就職を目指す。	12ヶ月	就労継続支援B型 月～金	ステップ 六本木 一緒に働く仲間	3ヶ月	新しい雰囲気の中で霞が園さんのできる こと、ステップアップを促していただき たい。就労の方向性は通所本人と確認して ください。
3	朝なかなか起きることができない	仕事に行く生活リズムを作る。	3ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 病院	ピアハウス 豊田 ステップ 六本木 西村Dr 岩崎	1ヶ月	仕事に行くことについてモチベーション を高める工夫をお願いします。

## 06 共同生活援助事業所(介護サービス利用型)で行う個別支援計画(案)

利用者氏名: 霞が関太一さん

作成年月日 H● / ● / ●

### 【総合的な援助の方針】

グループホームを一つのステップとしてできることを増やし、支援を受けながらも自由な一人暮らしを目指す。今は就労継続支援B型を使うが、就労を目指し、昔のように就職をしてお金をためて車を買って出かけるような暮らしを目指す。また、不安な時や苦しい時には相談できる人やSOSを禁せられるようにする。

### 【到達目標】

掃除や洗濯など生活していくために出来る事を増やしていき、ピアハウスを出て一人暮らしをする。

### 【短期目標】

これからの暮らしのことや不安なことを相談出来るようになる。

### 【長期目標】

掃除や洗濯などこれまでやってこなかったことを練習して、自分で出来る事を増やす。

### 具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位

確認年月日: 平成 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

川崎 まさお

印



## 07 就労継続支援B型事業所で行う個別支援計画(案)

利用者氏名： 霞が関太一さん

作成年月日 H● / ● / ●

### 【総合的な援助の方針】

グループホームを一つのステップとしてでできることを増やし、支援を受けながらも自由な一人暮らしを目指す。今は就労継続支援B型を使うが、就労を目指し、昔のように就職をしてお金をためて車を買って出かけられるような暮らしを目指す。また、不安な時や苦しい時には相談できる人やSOSを寄せられるようにする。

**【到達目標】** 自分のやりたい仕事、自分に合う仕事をみつけ、一般就労をめざす。

**【短期目標】**  
遅刻をせずに、決まった時間に通所する。  
作業訓練のことや一般就労のこと等不安なことを相談できるようになる。

**【長期目標】**  
一般就労した時の具体的な勤務条件や職業生活を擬似体験することを目的に、施設外就労活動に参加する。

### 具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位

確認年月日：平成 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

本 田 一 郎

印

## 08 共同生活援助事業所(介護サービス利用型)で行う個別支援計画(案)

利用者氏名： 霞が関太一さん

作成年月日 H● / ● / ●

### 【総合的な援助の方針】

グループホームを一つのステップとしてできることを増やし、支援を受けながらも自由な一人暮らしを目指す。今は就労継続支援B型を使うが、就労を目指す、昔のように就職をしてお金をためて車を買って出かけるような暮らしを目指す。また、不安な時や苦しい時には相談できる人やSOSを発せられるようにする。

### 【到達目標】

掃除や洗濯など生活していくために出来る事を増やしていき、ピアハウスを出て一人暮らしをする。

### 【短期目標】

これからの暮らしのことや不安なことを相談出来るようになる。  
**具体的な到達目標及び支援計画等**

### 【長期目標】

掃除や洗濯などこれまでやってこなかったことを練習して、自分で出来る事を増やす。

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
生活や仕事で困ったり、不安なことを自分で判断せずに相談出来るようにしたい	時々声が聞こえたり、不安がある時には、すぐに相談しましょう。 毎日、あった出来事を豊田さん、名古屋さんか川崎さんに教えてください。	何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。 それ以外、何も無い時にも、1日のあったことを聞きます。	困った時・不安な時はいつでも 毎日夕方16時頃～17時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員) 川崎(サビ管)	1
ひとり暮らしに向けて、自分で出来る事を増やしていきたい	掃除や洗濯など、まずは出来る事からやってみましょう。わからない時には、豊田さん、名古屋さんや他の利用者さんに聞いてみましょう。	洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方など、わからない時には一緒に教えながらやりましょう。また、疲れてしまったり、調子が悪く出来ない時には遠慮せずに相談してください。	毎日	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
朝、自分で起きて仕事に遅刻せずに行くようになりたい	目覚ましをかけて自分で自分で決めて決めた時間に起きるようにしてみましょう。	目覚ましを鳴り続け、起きてこない時には、こちらからも声を掛けさせてもらいます。 起きられない時間が続くようであれば眠前薬の時間を相談します。	月～金の朝7時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	2
入院したくないので、薬はちゃんと服薬していきたい	今までどおり、朝、夕、眠前の薬を飲みましょう。	こちらから見て、気になることがある時には声を掛けさせてもらいます。	随時	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員) 川崎(サビ管)	4

確認年月日：平成 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

川崎 まさお

印

## 09 就労継続支援B型事業所で行う個別支援計画(案)

利用者氏名： 霞が関太一さん

作成年月日 H●● / ●● / ●●

### 【総合的な援助の方針】

グループホームを一つのステップとしてできることを増やし、支援を受けながらも自由な暮らしを目指す。今は就労継続支援B型を使うが、就労を目指し、昔のように就職をしてお金をためて車を買って出かけるような暮らしを目指す。また、不安な時や苦しい時には相談できる人やSOSを寄せられるようにする。

【到達目標】 自分のやりたい仕事、自分に合う仕事をみつけ、一般就労をめざす。

【短期目標】  
遅刻をせずに、決まった時間に通所する。  
作業訓練のことや一般就労のこと等を相談できるようになる。

### 【長期目標】

一般就労した時の具体的な勤務条件や職業生活を疑似体験することを目的に、施設外就労活動に参加する。

### 具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
自分の得手・不得手を知り、「お金を稼ぎたい」「就労したい」という希望をかなえたい	自分の得手・不得手を分析するために様々な作業を体験しよう。まずは、2時間程度の作業を毎日続けよう。	事業所内のカフェで、経験のある接客の作業を体験できるようにします。 丁寧な言葉遣いや得意なコミュニケーション能力を活かせるようなプログラムを作ります。	月～金 11:00～13:00	松阪 (職業指導員) 熊野 (就労支援員)	1
作業訓練や一般就労に向けて、困ったり、不安なことがあるば、すぐに相談できるようにしたい	作業訓練中に、困ったことや心配事がある時は、本田(サビ管)、鈴木(生活支援員)や松阪(職業指導員)に教えて下さい。気持ち不安定になり、感情的になりそうな時は、すぐに相談しましょう。	毎週、面談をする時間を作りますので、何でも話して下さい。何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。 ご希望がある時は、グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援することができます。	面談:毎週水曜日 15:00～ 困った時・不安な時はいつでも	松阪 (職業指導員) 鈴木 (生活支援員) 本田(サビ管)	2
遅刻せず作業に行けるようになりたい	自分で決めた時間に起きるようにしましょう。 起床から通所、作業の取り掛かりまでの時間の流れを具体的に決めて、実行しましょう	生活支援員が、一緒に、起床から通所、そして仕事に取り掛かるまでの時間の流れを具体的に考えます。 毎日、決めた通りに実行できたか聞きます。 ご希望がある時は、グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援することができます。	面談:毎週水曜日 15:00～ 毎日 作業に取り掛かる時	鈴木 (生活支援員) 本田(サビ管)	3
髪・爪・ひげなどの身だしなみを整えたい	毎日通所時に、髪はきれいか・ひげはそってあるか・爪は切ってあるか・爪は切ってあるかの確認をしましょう	毎日通所時に、髪はきれいか・ひげはそってあるか・爪は切ってあるか等を一緒に確認します。 ご希望がある時は、グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援することができます。	毎日通所時	鈴木 (生活支援員)	4

確認年月日：平成 年 月 日 利用者氏名 印 サービス管理責任者氏名 本田 一郎 印

【13 サービス担当者会議 配役】

役名	氏名	役柄
本人	霞が関たいち	地域Gでは、「就労したい」が希望
父親	霞が関いちろう	地域Gでは、「まずはグループホームで力をつけて」
相談支援専門員	六本木はやと	あまりしきらず、本人の希望を聴いたうえで、それぞれのサビ管らに意見を言ってもらおう。
A市福祉課		
グループホームサービス管理責任者	川崎まさお	
世話人	豊田のぞみ	仕事よりも生活力をつけた方が良いと思っている。
就労継続支援B型サービス管理責任者	本田	
支援員	鈴木	生活も大事だけれど、仕事をする力がついたほうが良いと思っている。

【14 サービス担当者会議 配役】

役名	氏名	役柄
本人	霞が関たいち	就労Gでは、「一人暮らしの力をつけたい」が希望
父親	霞が関いちろう	就労Gでは、「早く働けるようになったほうがいい」
相談支援専門員	六本木はやと	あまりしきらず、本人の希望を聴いたうえで、それぞれのサビ管らに意見を言ってもらおう。
A市福祉課		
グループホームサービス管理責任者	川崎まさお	
世話人	豊田のぞみ	仕事よりも生活力をつけた方が良いと思っている。
就労継続支援B型サービス管理責任者	本田	
支援員	鈴木	生活も大事だけれど、仕事をする力がついたほうが良いと思っている。

# 15 就労継続支援B型事業所で行う個別支援計画の一例(変更案)

利用者氏名： 霞が関太一さん

作成年月日 H● / ● / ●

## 【総合的な援助の方針】

グループホームを一つのステップとしてできることを増やし、支援を受けながらも自由な一人暮らしを目指す。今は就労継続支援B型を使うが、就労を目指し、昔のように就職をしてお金をためて車を買って出かけられるような暮らしを目指す。また、不安な時や苦しい時には相談できる人やSOSを寄せられるようにする。  
**(★但し、サービス等利用計画に変更があった場合は、変更後の方針を記載する)**

【到達目標】 自分のやりたい仕事、自分に合う仕事をみつけ、一般就労をめざす。 ★主語は「ご本人は・・・」

【短期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は・・・」  
 日常生活を見直して、生活リズムを整える。  
 不安に思うことは何でも相談できるようにする。

【長期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は・・・」  
 グループホームで安定した生活を送りながら、就労訓練に取り組み、基本作業時間を4時間に設定できるようにする。

## 具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標 ★主語は「ご本人は・・・」	本人の役割 ★主語は「ご本人は・・・」	支援内容（内容・留意点等） ★主語は「支援者は・・・」	支援期間 （頻度・時間・期間等）	担当者	優先順位
自分の強み・弱み、得手・不得手を知りたい	自分の強み・弱み、得手・不得手を、分析する。	就労アセスメントの結果を改めて丁寧に説明し、一緒に、自分の強み・弱み、得手・不得手を具体的に分析する時間をもちます。 セールスポイントになる丁寧な言葉遣いやコミュニケーション能力が活かせるようなプログラムを優先的に作ります。	月・火・木・金 13:00～15:00	本田(サビ管) 松阪 (職業指導員) 熊野 (就労支援員)	3
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい	困ったことや心配事がある時、気持ち不安定になり、感情的になりそうな時は、すぐに相談しましょう。	月と金の活動後に面談をする時間を作りますので、何でも話して下さい。 何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。	面談:毎週月・金曜日 15:00～ 困った時・不安な時はいつでも	松阪 (職業指導員) 鈴木 (生活支援員) 本田(サビ管)	2
生活リズムを整えるため、日常生活を見直したい	就労訓練は週4日にし、時間に2時間に設定し直しましょう。 通所時間を午後からにして、自分のペースで通所の準備をしましょう。	就労訓練は週4日にし、時間は2時間に設定し直します。 生活支援員が、一緒に、通所や生産活動に取り掛かるまでの時間の流れを具体的に考えます。 グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援します。	月・火・木・金 13:00～15:00	鈴木 (生活支援員) 本田(サビ管)	1

確認年月日： 平成 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

本田 一郎 印